

選択問題 表計算の問題

次の表計算ソフトの記述を読み、各設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

IF 関数

条件が真の時に「真の場合」、偽の時に「偽の場合」の計算結果や値を返す。

IF 関数の中にIF 関数を入れることができる。

書式：IF（条件式，真の場合，偽の場合）

ROUNDUP関数

指定した桁で値を切り上げる。桁数が正の数であれば小数点以下，負の数であれば小数点以上の桁になる。例えば，1 にすると小数点以下第2位以下の桁を切り上げて小数点以下第1位までを表示し，-1 にすると1の位以下の桁を切り上げる。

書式：ROUNDUP（式または値，桁数）

ROUNDDOWN 関数

指定した桁で値を切り捨てる。桁数が正の数であれば小数点以下，負の数であれば小数点以上の桁になる。例えば，1 にすると小数点以下第2位以下の桁を切り捨てて小数点以下第1位までを表示し，-1 にすると1の位以下の桁を切り捨てる。

書式：ROUNDDOWN（式または値，桁数）

SUM 関数

指定した範囲の合計値を求める。

書式：SUM（開始セル番地：終了セル番地）

HOUR関数

時間を取り出す。0～23(時)の範囲の整数になる。

書式：HOUR(シリアル値)

MINUTE関数

分を取り出す。0～59(分)の範囲の整数になる。

書式：MINUTE(シリアル値)

TODAY関数：

現在の日付に対応するシリアル値を返し，日付形式で表示される。

書式：TODAY（）

式

=に続けて計算式や関数などを入力する。

セル番地の参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地（絶対参照）を表す。

他のワークシートの参照

「ワークシートの名前！セル番地」とすることで他のワークシートのセルを参照することができる。

Jカラオケ店では、表計算ソフトを使用して料金の計算と年間集計表を作成している。

<設問1> 次のレシート作成に関する記述中の に入れるべき適切な式を解答群から選べ。

表1 料金表

	A	B	C	D	E
1	料金表				
2					
3		30分ごと		フリータイム料金	
4		料金	会員料金	料金	会員料金
5	一般	150	100	1000	800
6	学生	80	50	600	400

※ フリータイムとは、11:00～18:00の間であり、
料金は定額である。

表2 レシート

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	レシート							
2								
3	会員番号	30246				日付	2012/4/4	
4								
5	フリータイム利用		0					
6								
7	開始時刻	11時02分						
8	終了時刻	15時54分				利用時間	4時52分	
9								
10	部屋番号		人数	30分ごとの単価	フリータイムの単価	料金		
11	205	一般	2	100	800	2,000		
12		学生	3	50	400	1,500		
13								
14					合計料金	3,500		
15								

受付で、ワークシート「レシート」にカラオケ利用に必要な項目を入力すると料金計算が行われるように作成する。料金表の料金は、入力済みである。

- ・会員番号は、会員であるお客から会員カードを借りて入力する。会員でないお客の場合は 0 と入力する。
- ・日付は、システム日付が表示される。
- ・フリータイムを利用するかをお客に確認後、利用の場合は 1 を、利用しない場合は 0 を入力する。1 部屋にフリータイムと時間利用が混在することはない。
- ・開始時刻、終了時刻を入力すると、利用時間が表示される。
- ・利用部屋番号と利用人数を入力する。学生の場合は、学生証の提示で確認を行う。
- ・時間利用の場合は、利用時間を 30 分単位に切り上げた金額になる。

セル E11 に‘30 分ごとの単価’を求めセル E12 へ、セル F11 に‘フリータイムの単価’を求めセル F12 へ、セル G11 に人数分の料金を求めセル G12 へそれぞれ複写する。セル E11 に入力する式は となり、セル F11 に入力する式は となり、セル G11 に入力する式は となる。合計料金を求める式をセル G14 に入力する。

(1), (2) の解答群

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ア. =IF(C3=0, 料金表!B5, 料金表!C5) | イ. =IF(C\$3=0, 料金表!B5, 料金表!C5) |
| ウ. =IF(\$C3=0, 料金表!B5, 料金表!C5) | エ. =IF(C3=0, 料金表!D5, 料金表!E5) |
| オ. =IF(C\$3=0, 料金表!D5, 料金表!E5) | カ. =IF(\$C3=0, 料金表!D5, 料金表!E5) |

(3) の解答群

- ア. =IF(D5=0, (HOUR(G\$8)/2+ROUNDUP(MINUTE(G\$8)/30, 0))*D11*E11, D11*F11)
- イ. =IF(D\$5=0, (HOUR(G\$8)/2+ROUNDUP(MINUTE(G\$8)/30, 1))*D11*E11, D11*F11)
- ウ. =IF(D5=0, (HOUR(G\$8)*2+ROUNDDOWN(MINUTE(G\$8)/30, 0))*D11*E11, D11*F11)
- エ. =IF(D5=0, (HOUR(G\$8)*2+ROUNDUP(MINUTE(G\$8)/30, 1))*D11*E11, D11*F11)
- オ. =IF(D\$5=0, (HOUR(G\$8)*2+ROUNDUP(MINUTE(G\$8)/30, 0))*D11*E11, D11*F11)
- カ. =IF(\$D5=0, (HOUR(G\$8)*2+ROUNDDOWN(MINUTE(G\$8)/30, 0))*D11*E11, D11*F11)

<設問 2> 次の年間売上一覧表とグラフ作成に関する記述中の□に入れるべき適切な式を解答群から選べ。

表 3 年間売上一覧表

	A	B	C	D	E
1	年間売上一覧表				
2					単位: 千円
3	月	2010年	2011年	2011年累計	移動年計
4	1	1,350	2,263	2,263	23,022
5	2	1,140	1,281	3,544	23,163
6	3	2,458	2,321	5,865	23,026
7	4	2,375	1,327	7,192	21,978
8	5	1,844	1,867	9,059	22,001
9	6	1,695	1,327	10,386	21,633
10	7	1,376	1,156	11,542	21,413
11	8	2,083	1,482	13,024	20,812
12	9	1,942	1,436	14,460	20,306
13	10	1,753	1,657	16,117	20,210
14	11	1,564	1,342	17,459	19,988
15	12	2,529	1,984	19,443	19,443
16	合計	22,109	19,443		

ワークシート「レシート」に入力された売上高は、ワークシート「年間売上一覧表」の年と月の一致するセルに集計される。

次に、グラフを作成するため、2011 年累計と移動年計（その月を含めた過去 12 カ月分の合計）を表示する。2011 年累計を求めるため、セル D4 に入力する式は□(4)となり、セル D5 に入力する式は□(5)となる。ただし、セル D5 に入力した式は、セル D6～D15 まで複写する。

移動年計を求めるため、セル E4 に入力する式は□(6)となり、セル E5 に入力する式は□(7)となる。ただし、セル E5 に入力した式は、セル E6～E15 まで複写する。

次に、図のようなグラフを作成する。このグラフは、売上の季節変動など含めた長期的な傾向を見ることができ、□(8)と呼ばれている。

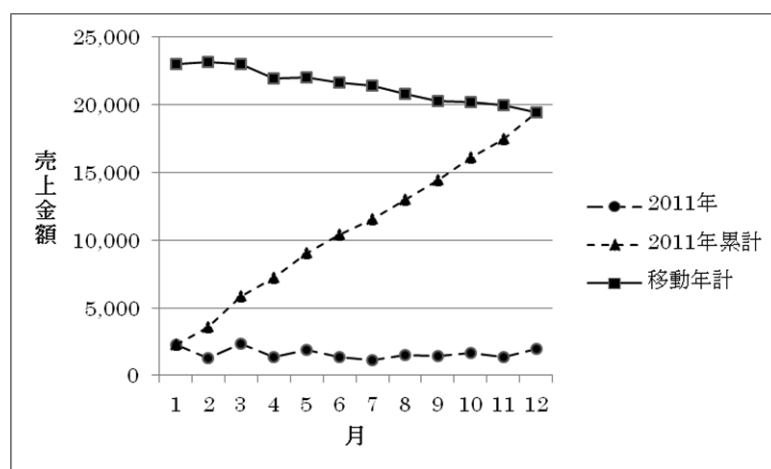


図 年間売上累計グラフ

(4) , (5) の解答群

ア. =B4

ウ. =D4+B5

イ. =C4

エ. =D4+C5

(6) の解答群

ア. =SUM(A5:B15)+C4

ウ. =SUM(B5:B15)+C4

イ. =SUM(A5:B15)+D4

エ. =SUM(B5:B15)+D4

(7) の解答群

ア. =E4+B5+C5

ウ. =E4-B5+C5

イ. =E4+B5-C5

エ. =E4-B5-C5

(8) の解答群

ア. SD チャート

ウ. Z チャート

イ. J チャート

エ. 積み上げ面グラフ